ICICニュース

Vol.16 No.1 通巻57号 2011年5月31日発行

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-5 神保町センタービル5F
Tel. 03-3262-1486 Fax. 03-3234-0872 E-mail chizujoho@coral.bforth.com

International Cartographic Information Center NEWS　編集・発行 財団法人地図情報センター

展覧会情報

ウメサオタダオ展―知的先覚者の軌跡
会　場　国立民族学博物館
電　話　06-6876-2151
期　間　3月10日（木）～6月14日（火）

コーナー展「江戸開府前の港区-港区ゆかりの中世資料」
会　場　港区立港郷土資料館
電　話　03-3452-4966
期　間　4月22日（金）～6月15日（水）

企画展　東京⇔神戸　昭和の東海道
会　場　横浜都市発展記念館
　　電話045-663-2424
期　間　4月16日（土）～6月26日（日）

古地図～地域から世界へ～
会　場　岐阜市歴史博物館
電　話　058-265-0010
期　間　4月22日（金）～7月10日（日）

寺社参詣・物見遊山―横浜・神奈川の名所
会　場　横浜歴史博物館
　　電話045-912-7777
期　間　6月11日（土）～7月10日（日）

路面電車が走る町 下町の暮らしと交通
会　場　台東区立下町風俗資料館
電　話　03-3823-7451
期　間　5月17日（火）～7月18日（月）

黄金期の小樽の姿　新着資料の地図から
会　場　小樽市総合博物館
　　電話0134-33-2523
期　間　6月4日（土）～7月29日（金）

巡検開催のご案内

■ 平成23年の巡検予定

平成23年度第1回巡検（岩槻：4月9日開催）は3月11日に発生した東日本大震災の影響により順延となりました。それに伴い、本年度の巡検は秋以降に3回程度開催予定です。

・10月「蕨巡検」（埼玉県、日本一小さい市）
・12月セミナー（講師：井口悦男先生、都内）
・2月「岩槻巡検」（埼玉県、お雛様で有名）
を予定しております。

また、8月8～9日開催予定の日本国際地図学会（国士舘大学 世田谷キャンパス梅ヶ丘校舎（東京都世田谷区）に出展予定です。

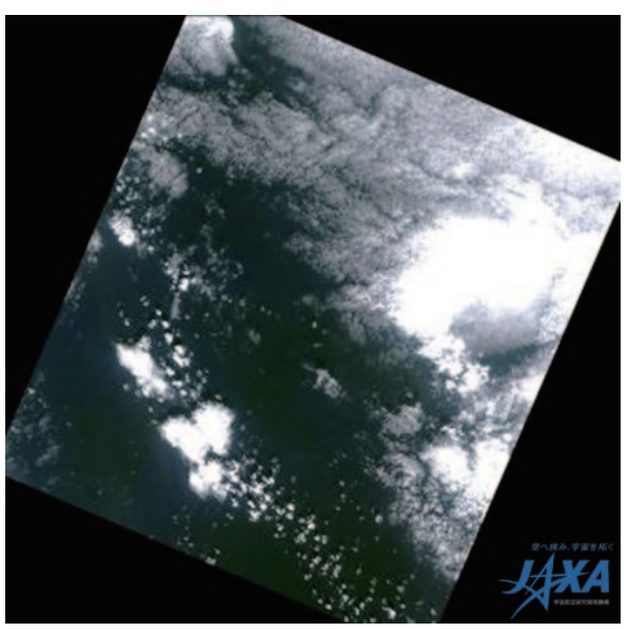
mini地図NEWS

宇宙航空研究開発機構（JAXA）は5月12日、制御不能になっていた陸域観測技術衛星「だいち」について、運用を終了したと発表した。

発表によると、「だいち」は4月21日に太陽電池パドルによる発電量が急激に低下し、軽負荷モードに陥った。その後、約3週間にわたって復旧作業が続けられたが、交信不能と判断され、5月12日に停波作業が行われたという。

「だいち」は2006年1月24日、H2Aロケット8号機によって打ち上げられ、5年以上稼働し、国土地理院の地図データの収集や被災地の撮影、資源探査など、様々な分野で活躍した。

この写真は「だいち」が捉えた最後の地球。（sorae.jp 5月13日）



高性能可視近赤外放射計2型（AVNIR-2）によるアラスカ周辺　観測終了4月22日5:21（JST）

地　図　絡　み

第45回 漢字地名の嘆き

帝京大学理事　井口悦男

日本では、地名、駅名、停留所名など、近頃「仮名」含みも出現しているが、「漢字」表現が名字とともに、なお基本である。それに興味深いことには、鉄道の駅名などには「読み」の「仮名」が必ず併記されていることである。しかも、駅名の「漢字」より「仮名」が目立つよう大きな字体で表示することが多い。読み付き駅名表示とされたのには、恐らく、新聞記事や小説本など庶民の目に触れる文章に「振り仮名」を付ける、独自の習慣、工夫が、御一新文明開化の象徴の代表にあたる「鉄道」の「駅名」にも、子供や庶民に読み分かりやすいよう、自然に近く採用されたにちがいない。その上に、ヨーロッパ系人用ローマ字表記もあって三重表示となっていた。近頃はさらに、台湾系観光客用の「正字」に大陸用「簡体文字」そして半島系用「ハングル」と賑やかさを加える。それに隣接駅名と、親切この上ない。

満鉄の影響が強い中国大陸鉄路上の駅名標にも隣接駅名と、アルファベット表示がされる。ひるがえって、ヨーロッパ、アメリカ横文字圏では、ロシアのキリル文字圏も含め、当該駅名表示に止まる。表示の文字自体が発音記号でもあることによろう。隣接駅名記入は、サービス感覚の問題に帰しよう。

さて、地図帳の世界地名表記の件であるが、全世界の地名を発音記号のひとつ、カタカナで表わし、そのより所となるアルファベットを脇づけするものが、中学生以上利用のものに見られた。この方式の図で例外扱いとなっていたのは、漢字地名域で、敗戦以前横文字付き以外、そのその読みを付けず、日本での漢字の音読にしたがった。

札幌市営地下鉄の駅名表示（さっぽろっこの食べ歩きグルメ紀行blogより）

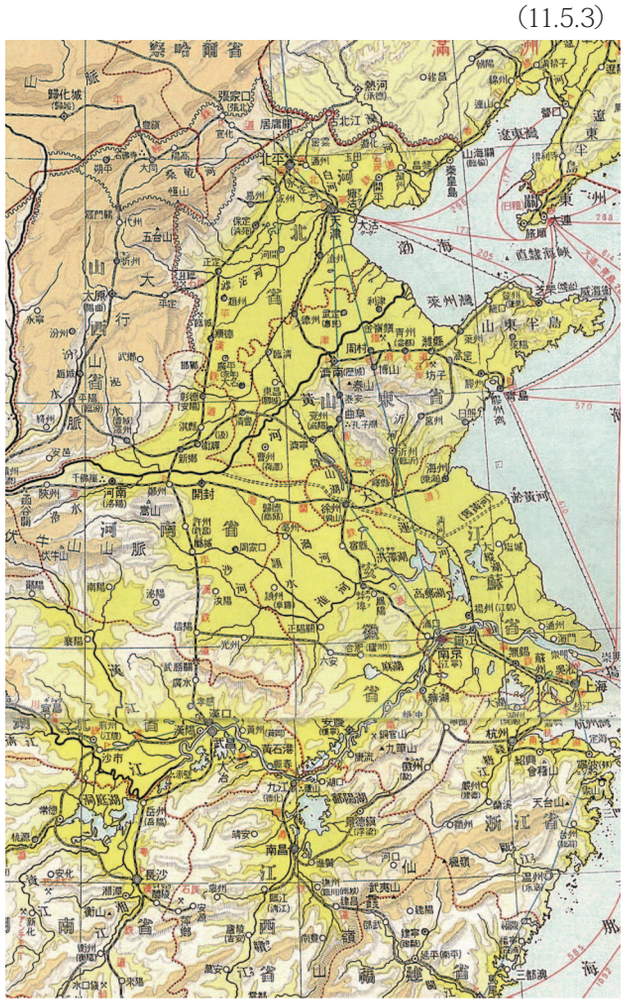
日本との結びつきの多かった地名に限り、上海をシャンハイと言うように、現地音に近い音が使われたが、ごく限られていた。

敗戦後、漢字地名も全部、カタカナ表記とする一時期が生じた。漢字で親しんできた者には、日本に一番近い半島と大陸との地名の位置が、「ペキン」「ナンキン」「チンタオ」など、以前から現地音らしき表現の所を除き、急に白紙状況となった。

これはさすがに不自然と、やがて世界各地の横文字脇付け方式と同等に、漢字を添えるか、漢字地名に現地音のカタカナを付ける工夫が進んだのは、一応妥当な解決とみる。

中国地名のカタカナ表記は、中国人に通じない無益な努力とする向きもあるが、あくまで日本語の発音記号による表記は、工夫したところで50歩100歩、それぞれの国あるいは地域での地名音と一致するとは限らない。ではあるが、精一杯、現地音を写そうと努力した結果と、ピジンイングリッシュながら覚えようとしていることを大事にしたい。ゲーテは、どう表現すれば一番現地音近い日本語となるか、比較の問題といえよう。

（11.5.3）



増訂改版「新選詳図」世界之部（帝国書院 昭和8年12月発行 復刻版）より